

膝前十字靭帯断裂、その後の治療経過について

その後、週一の治療を繰り返したところ、ほぼ熱感がなくなった患者様から「膝にお灸ってどうなんだろう？」と相談を受けました。熱もなく、水も溜まっていないため、私の方で施灸ポイントを支持。今も毎日欠かさず施灸しているようです。

膝に炎症が起こると、火事を消すため(炎症を鎮めるため)に、消防隊(白血球)が炎症患部である膝に集まります。炎症が治まるまで白血球が集まり、それが死骸となり結果膝に水が溜まってしまいます。通常は膝周囲の筋肉や腱等が吸収してくれますが、あまりにも多いため吸収しきれなくなるようです。

一度そういう状態になると吸収しにくくなり、水が溜まりやすくなるようです。そこでお灸を据えることで溜まった水を吸収しやすくなります。これはお灸で刺激することで周りの組織が賦活するものと思われ(但し、水が溜まった状態だと却って症状を悪化させます。あくまでも水が引けてからの話です)。

何事も継続することが大切です。気長に根気よくやっていきましょう。